

提言書

「Heart of Tajimiーたじみ市民討議会 2010」に関する提言書

平成22年6月26日、27日に開催されました「Heart of Tajimiーたじみ市民討議会 2010ー」において、協議された意見を集約し、市民答申として多治見市に提言いたします。

1. 討議テーマ「安心な生活をするために地域、家庭でできる防災対策とは」に対し、以下を提言いたします。

防災訓練、災害指導、携帯電話を利用した災害情報の伝達の具体的な手法の企画や、全ての地域の市民が情報の周知ができるシステムの充実を求めます。

- ・市民が喜んで参加できる防災訓練の企画を望みます。
- ・小・中・高生への災害指導の企画を望みます。
- ・転入者に対して地域・行政は、多治見市で行なわれている防災の知識を提供することを望みます。
- ・携帯ショップにて緊急メール登録のあつせんを望みます。

2. 討議テーマ「市民がまちに誇りと愛着をもつためには」に対し、以下を提言いたします。

多治見の魅力の情報発信や企業を誘致して雇用の安定、また、市民の利便性の向上及び幅広い年齢層の方々が参加できる、ボランティア活動できる場の企画を求めます。

- ・高齢者、車を運転しない人への公共交通機関の充実を望みます。
- ・多治見の魅力の発信をするためにメディアの活用、他地域との交流の場を設けることを望みます。
- ・地域を活性化するために企業を誘致して雇用の安定を望みます。
- ・市民の意識を改革するために、老若男女誰でも参加できるボランティア活動できる場の企画

を望みます。

- ・環境を向上させるために自然環境の保全と強化を望みます。

3. 討議テーマ「これからはどのように地域コミュニケーションのありかたが必要ですか」に対し、以下を提言いたします。

情報を活用しての地域コミュニケーションの企画づくり及び、地域のリーダー的な人材を育成しコミュニティの充実、またイベントの企画を通じて地域での交流を図る企画を求めます。

- ・多治見の魅力を再認識するために、市民に向けた情報発信を望みます。
- ・情報を使つてのコミュニケーションを図るために、シニア学校やインターネットでコミュニケーションができるサイトの作成を望みます。
- ・老人とのコミュニティを図るために、民生委員の数を増やすことを望みます。

4. 討議テーマ「安心して愛着のもてる「住みやすいまち」にするには」に対し、以下を提言いたします。

安心して愛着のもてる「住みやすいまち」にするために、防災意識の向上、地域コミュニティの充実、各地域の活性化に繋がる市全体で実施する市民参加型のイベントの企画、開催を求めます。

- ・シニア学校等をつくり高齢者に活躍の場を与え、若い人が参加できる特色のある行政サービスを望みます。
- ・多治見市の強みが分かりやすいキャッチフレーズの作成を望みます。
- ・各地域で会場を持ち回りにした、市全体で実施する市民参加型のイベントの企画、開催を望みます。
- ・市民がイベントなどに参加しやすいように、交通手段が無い地域の交通網の整備を望みます。

平成22年9月30日
社団法人多治見青年会議所
理事長 鈴木周作